

# 秦野市文化会館 令和8年度 事業計画書

## 《目次》

1. 管理運営の理念、方針
2. 管理業務の体制
3. 事業の概要及び実施する時期
4. その他の事項

令和7年 11月 29日

みんなの文化会館はだのパートナーズ

## 1.管理運営の理念、方針

### (1)管理運営理念は「みんなの文化会館」

私たちは、秦野市文化会館の設置目的「市民の文化向上及び福祉増進(秦野市文化会館条例第2条)」を達成するため、条例・法令を遵守し、利用者にとって公平・平等かつ安心・安全を確保しながら、市の芸術文化振興、賑わい創出の拠点として「みんなの文化会館」を合言葉に、市民とともに創り、育み、未来につなぐ新しい形の施設運営を目指します。

### (2)8つの管理運営方針

上記の理念に基づき、次の8項目を管理運営方針とします。

- ①優れた芸術文化の鑑賞機会を提供します
- ②公平・公正な運営を行います
- ③安全・安心で快適な施設管理を行います
- ④高いホスピタリティで利用者をお迎えします
- ⑤地域交流拠点として賑わいを創出します
- ⑥効率的で効果的な運営を行います
- ⑦環境配慮のSDGs運営を目指します
- ⑧市民との「共創運営」を目指します

### (3)秦野らしい「共創運営」を目指します

「みんなの文化会館」の理念に基づき、地域の様々なステークホルダーと連携する新しい「共創運営」の形を目指します。40年以上のメディア活動を通じ、地域社会と強い信頼関係を築いてきた代表企業の強みを生かし、みんなで地域の文化を育てようという地域共創の仕組みづくりに取り組みます。

#### 【主な取り組み】

○地域人材を活用した文化芸術事業 ○地域の文化芸術を発信するメディア事業

### (4)「賢い活用」「スマート化」の視点、ノウハウを取り入れます

私たちは「発信力」「企画力」「人脈・ネットワーク力」といった強みを生かし、施設の「賢い活用」「スマート化」の視点を重視した管理運営をすることで、事業収支を好転させ、収益をサービス向上に還元するという好循環を生み出すため、次のような事項に取り組みます。

#### 【主な取り組み】

○数値目標の設定 ○マーケティング活動 ○スタッフのモチベーションアップ ○営業活動の展開  
○デジタル化推進

### (5)環境へ配慮したSDGs運営を目指します

SDGs経営の視点を大切に、次のようなことに取り組みます。



#### 【主な取り組み】

○エネルギー使用量の目標を設定 ○公共交通機関での来館や消灯・節水の呼びかけ ○ペーパーレス化 ○ノー残業デー、クールビズ・ウォームビズの実施 ○ごみ持ち帰り推進 ○グリーン購入

## 2. 管理業務の体制

### (1) 共同事業体「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の役割

- 最高意思決定機関
- 年度事業計画の策定と承認
- パートナーズ運営会議の開催
- 秦野市との指定管理者協定に基づく履行管理
- 事業体協定に基づく履行管理

### (2) 「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の構成企業の役割

- 株式会社タウンニュース社(代表企業)…事業体事務局、施設の管理運営、施設設備保守監視、自主事業の企画運営
- 株式会社日動計画…環境衛生測定・清掃・保安警備
- 株式会社サウンドダック…舞台設備管理運営業務・自主事業の運営
- 株式会社関野建設…施設の点検・改修
- タウンニュース・ヒューマンキャピタル株式会社…自主事業の企画・レストラン運営

### (3) 効果的な人員配置で高水準のサービスを提供

館長、事務管理職員、施設維持管理職員、舞台技術職員を効果的に配置し、万全の体制で業務にあたります。また、構成企業各社の本社職員が職務をサポートします。

#### 貸館事務・事業運営の体制

館長が貸館事務・事業運営の統括を兼任し、1日4～5人常駐の体制で業務にあたります。また、タウンニュース社本社や秦野支社のサポート体制を強化し、事業運営や事務作業、広報業務などについて支援します。

#### 舞台設備管理運営業務の体制

舞台、照明、音響の各技術担当を配置し、舞台設備の保守点検、運営、コンシェルジュサービスを提供します。

#### 施設維持管理業務の体制

- 日常清掃…1日1～3人の日常清掃員、巡回清掃員を配置
- 定期清掃…日動計画本社から派遣
- 施設設備の保守監視業務…1日1～3人の従事者を配置
- 環境衛生測定業務…建築物環境衛生管理技術者を1名選任及び配置
- 保安警備業務…24時間警備とし、開館時間中は1名以上の警備員を配置し、休館日及び閉館時間中は機械警備で行います。

### (4) 危機管理体制

安全管理を最優先事項とし、様々なリスクを認識した上、法令規則の遵守を徹底し、安全・安心を確保する体制づくりと未然防止策を講じます。

- 日常点検、巡回警備、施設・舞台の定期点検等により、事故等の未然防止につなげます
- 危機管理マニュアルに基づき、年2回の防災訓練を実施します

### (5) 個人情報情報の管理体制

個人情報情報の漏えいは個人の権利侵害や行政の信用失墜につながるとの責任を強く認識し、市個人情報保護条例等を遵守し、情報の適正管理と保護徹底に取り組みます。代表企業の経営管理部長を個人情報管理責任者として配置し、個人情報保護規程の遵守、セキュリティ対策に取り組みます。

### 3. 事業の概要及び実施する時期

#### (1) 令和8年度 自主事業の実施方針

大規模改修による21カ月間の休館が明け、再スタートとなる令和8年度は、文化会館と市民との関係性を再構築する1年となります。自主事業では、話題性のある集客性の高い事業で来館を働きかけるとともに、みんなの文化会館自主事業実施方針に基づき、多様な事業を展開し、文化芸術拠点としての役割を果たします。

#### みんなの文化会館自主事業実施方針

- ① 話題性のある人気アーティストの公演を実施します
- ② 市民が文化芸術に気軽に触れることができる場を提供します
- ③ 学校やサークル等の発表の場として市民が主役の舞台を提供します
- ④ 市内で活躍する若手アーティストの支援や、発掘を行います

#### (2) 令和8年度 年間の自主事業数

##### 1. 仕様書の実施基準

##### ① 文化会館などで行う市民の芸術文化の振興を目的とした事業

・やまなみファミリーコンサート 【4事業以上】 ・丹沢音楽祭 【1事業】

・山田和樹プロデュース公演 【1事業】 ・その他、市民の文化振興に資する事業【4事業以上】

##### ② 文化会館の利用促進、普及を目的とした事業(人寄せ要素を重視した公演)

##### ③ その他の事業(芸術文化の振興及び会館の利用普及及び宣伝を図る事業)

##### 2. 実施回数

やまなみファミリーコンサート4回、丹沢音楽祭1回、山田和樹プロデュース公演1回、そのほか47事業

場所	①文化会館等で行う市民の芸術文化振興を目的とした事業	②文化会館の利用促進、普及を目的とした事業	③その他の事業	計
大・小ホール	43	0	0	43
その他施設	0	5	5	10
合計	43	5	5	53

#### (3) 令和8年度 年間の自主事業スケジュール(計画案)

実施日	自主事業名	事業目的	会場	動員目標
4月15日(水)	プロムナードコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	100
4月26日(日)	サタデーフェスティバルスペシャル	利用促進普及事業	大ホール	300
4月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
5月6日(水)	自主事業	芸術文化振興事業	小ホール	250
5月10日(日)	自主事業	芸術文化振興事業	大ホール	900
5月17日(日)	共催事業	芸術文化振興事業	大ホール	900
5月21日(木)	寄席	芸術文化振興事業	小ホール	100
5月29日(金)・30日(土)	共催事業	芸術文化振興事業	大ホール	2500
5月16日(土)	公演	芸術文化振興事業	小ホール	300
5月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
6月6日(土)	サタデーフェスティバル	利用促進普及事業	市民広場、ホワイエ	200
6月17日(水)	プロムナードコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	100
6月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
6月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	その他の事業	タウンニュース紙面	—

7月16日(木)	寄席	芸術文化振興事業	小ホール	100
7月18日(土)	共催事業(サマーシアター)	芸術文化振興事業	小ホール	400
7月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
8月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
8月未定	共催事業(秦野市民交響楽団公開リハ)	芸術文化振興事業	大ホール	500
8月23日(日)	プロムナードコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	100
9月5日(土)	サタデーフェスティバル	利用促進普及事業	市民広場、ホワイエ	200
9月17日(木)	寄席	芸術文化振興事業	小ホール	100
9月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
9月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	その他の事業	タウンニュース紙面	ー
9月未定	共催事業	芸術文化振興事業	大ホール	1000
10月3日(土)	自主事業(丹沢ロックフェス)	芸術文化振興事業	大ホール	600
10月10日(土)	サタデーフェスティバル	利用促進普及事業	市民広場、ホワイエ	200
10月21日(水)	プロムナードコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	100
10月31日(土)	共催事業	芸術文化振興事業	大ホール	900
10月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
11月7日(土)	共催事業(明大マンドリン)	芸術文化振興事業	大ホール	600
11月18日(水)	寄席	芸術文化振興事業	小ホール	100
11月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
12月16日(水)	プロムナードコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	100
12月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	その他の事業	タウンニュース紙面	ー
12月未定	第139回やまなみコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	250
12月未定	クアーズテック Xmas コンサート	芸術文化振興事業	小ホール	450
12月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
1月16日(土)	自主事業	芸術文化振興事業	小ホール	300
1月20日(水)	寄席	芸術文化振興事業	小ホール	100
1月24日(日)	自主事業(第35回丹沢音楽祭)	芸術文化振興事業	大ホール	800
1月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
1月未定	第140回やまなみコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	250
2月6日(土)	共催事業(県民ホールオペラ)	芸術文化振興事業	小ホール	300
2月17日(水)	プロムナードコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	100
2月未定	「丹沢文化通信」発行	その他の事業	冊子発行	ー
2月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
2月未定	第141回やまなみコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	250
3月17日(水)	寄席	芸術文化振興事業	小ホール	100
3月未定	歌声喫茶	芸術文化振興事業	小ホール	50
3月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	その他の事業	タウンニュース紙面	ー
3月未定	第142回やまなみコンサート	芸術文化振興事業	小ホール	250
3月未定	サタデーフェスティバル	利用促進普及事業	市民広場、ホワイエ	200

### (3) 事業実施により目指す指標

○観客動員目標/年1万4600人    ○観客満足度/90%以上

## 4. その他の事項

### (1) レストランの運営

#### 1. 実施概要

令和8年度4月中の再オープンを目指します。

### (2) プロモーション強化

長期にわたる休館期間を挟んでの再オープンにあたり、クアーズテック秦野カルチャーホールと市民との関係性を再構築するため、令和8年度もプロモーション強化を重点施策に位置付けます。

#### 1. オリジナルメディアの活用・運営

○利用案内パンフレット	施設概要、ホール利用の案内パンフレットを活用します
○ホームページ	ホームページ上で施設情報やイベント情報などを配信します
○SNS	Facebook・X(旧 Twitter)等のアカウントで情報を発信します
○月刊「催し物案内」	文化会館の催し物スケジュールを紹介する A4版の月刊紙を発行します
○自主事業の販促物	自主事業を開催する際は、チラシやポスター等、販促物を制作します

#### 2. オウンドメディア「タウンニュース」の活用

○クアーズテック秦野カルチャーホール情報コーナーの定期掲載化
タウンニュース秦野版(28, 440部新聞折込+店舗施設配架)上で本施設に特化した情報コーナーを連載し、利用対象となる秦野市民に情報を届けます。
○自主事業は紙面広告を全県展開・提携キュレーションサイトも最大活用
神奈川県内全域と東京都多摩地区の全 36 地域(1,503,670 部新聞折込+施設配架)で紙面を展開している当社の強みを生かし、自主事業の告知について市外へのプロモーションを行います。クアーズテック秦野カルチャーホールの知名度アップ、「文化芸術のまち」としてのシティプロモーションにもつなげます。また当社が提携しているキュレーションサイト(Yahoo,グノシーほか)への掲出も最大限活用し、若年層へのアプローチにつなげます。
○利用団体のイベント周知 (休館に伴う、他施設での開催告知もサポート)
文化会館利用団体のイベントについて、タウンニュース紙上で報道します。地域メディア社が管理する施設であるという強みを十分に発揮し、利用団体と市民とのつながりを創出する文化芸術の活動拠点として機能するよう、広報支援に取り組みます。

### (3) 市内芸術振興及び文化会館の利用普及、宣伝をはかる取り組み

私たちは「みんなの文化会館」の理念に基づき、秦野市の文化芸術振興に寄与し、広く親しまれる施設運営をするため、それらに資する自主事業と広報活動に取り組みます。

#### 1. 多くの市民が芸術に触れ、学び、活躍する自主事業

「みんなが身近に音楽に触れる機会」「子供たちが芸術に触れる機会」「みんなが発表・活躍する機会」「みんなが文化会館を知る機会」を創出するため、地域人材が地元で自らのアート活動を発表する機会、市民が気軽に芸術鑑賞できる機会を創出する地域密着型の文化事業を展開します。

#### 2. 市の芸術文化振興へ 文化会館と連動した媒体の発行

市内の芸術文化振興のため、文化会館と連動した下記のような媒体を制作します。

○タウンニュース全面特集企画「芸術文化通信 harmonia ハルモニア」・・・タウンニュース秦野版で市内の芸術文化活動に光を当てる特集記事、文化会館の公演情報、地域のイベント情報等を掲載します。(年 4 回発行予定)